

DAISHIN DISCLOSURE

だいしんレポート

2024年度上半期ミニディスクロージャー誌
〈2024.4.1～2024.9.30〉



ごあいさつ

皆様方には、平素より「だいしん」大分信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

さて、今上半期におけるわが国の経済情勢は、コロナ禍の収束で社会経済活動の正常化が進み、緩やかな経済成長が継続していることや、足元の景気回復を転機に、国内政策金利が上昇へ転じる等、日々変化をしています。

海外に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や、周辺諸国に広がりを見せている中東地域の紛争等の地政学的動向が、今後も資源価格や穀物価格を大幅に変動させる可能性があり、さらに気候変動問題に対する各国の対応等を巡る不確実性もあることから、広く物価変動の潜在的リスクが存在しています。

地域経済では、人口減少や高齢化の進展、慢性的な人手不足、賃上げ気運の更なる高まり等、「ヒト」を中心とする環境が大きく変動していることから、人材への投資や業務効率化を含むDXの推進の取組を強化する必要があります。

このような情勢の中、当金庫は「地域の応援団」という役割を果たすべく、事業者様への積極的な資金繰り支援、企業価値向上に繋がる本業支援の体制強化に加え、各地方公共団体が行う施策への協力や、地域住民の生活向上支援を行ってまいりました。

この結果、令和6年9月末現在の業績は、預金残高2,429億7千万円、貸出金残高1,076億8千万円、当期純利益は8千万円となりました。金融機関の健全性を示す自己資本比率は、安定した利益の計上により、国内基準4%の5倍を堅持し21.09%となりました。

これもひとえに皆様方のご理解ご協力のお陰と存じ、心から感謝致しますとともに、今後とも中小企業づくり、住民生活づくり、地域社会づくりの『3づくり』で地域密着型金融を実践し、今後もお客様の利便性向上と地域社会の繁栄に貢献してまいりますので、何卒よろしくご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

この半期ディスクロージャー誌は、地域金融機関としての情報開示や説明責任を果たす意味で、主要な財務内容や地域活動の状況について開示しているものです。

皆様方におかれましては、是非とも本冊子をご高覧頂き、「だいしん」へのご理解を深めて頂ければ幸甚に存じます。

令和6年11月

会長 和田 政則
理事長 木村 浩樹



会長



理事長

TOPICS

トピックス 2024.4 ▶ 2024.9

4月

6日 「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」開催に伴う
オープニングイベント参加 **Ph1**

7日 鶴崎けんか祭り参加(鶴崎支店)

5月

18日 萬弘寺の市(坂ノ市支店)(5月24日まで)

19日 津留地区河川クリーン活動参加(東大分支店) **Ph2**

6月

1日 しんきん「地域応援」キャンペーン実施(6月30日まで)

1日 第26回七瀬川ホテルまつり参加(わさだ支店)



Ph1



Ph2

6月

- 3日 昼休業導入店舗を本店を除く全店舗へ拡大
- 3日 6月雨の日限定「雨・アメ HAPPY」の実施
(雨の日の来店のお客様へ「信ちゃんキャンディ」をプレゼント)
- 8日 「大分いこいの道」広場清掃ボランティア活動参加 **Ph3**
- 14日 「信用金庫の日」全店一斉清掃ボランティア活動実施
大分県内3金庫合同でお客様感謝デー実施(花と野菜の種プレゼント)
- 16日 第25回鶴崎・大在地区ミニバレーボール大会開催(鶴崎支店)
- 29日 滝尾デザイン会議 視察研修旅行



Ph3

7月

- 6日 別大デザイン会議 清掃活動(西大分支店) **Ph4**
- 15日 若宮八幡社夏祭り参加(府内町支店)
- 20日 臼杵祇園祭り・還御行列参加(臼杵支店)
- 21日 天神さま夢通り参加(西新町支店)
- 23日 清正公二十三夜祭(鶴崎支店)
- 25日 天満社夏季大祭・神輿巡幸参加(本店営業部・西新町支店)
- 25日 津久見支店新築工事安全祈願祭



Ph4



Ph5

8月

- 2日 大分七夕まつり「第40回府内戦紙」出場
3番旗 大分信用金庫・Little-B「練り部門優秀賞」受賞 **Ph5**
- 2日 サンサンピアストリート2024(府内町支店)(8月3日まで)
- 19日 学生向け就業体験「1day仕事体験」開催 **Ph6**
- 24日 本場鶴崎踊大会参加(鶴崎支店)



Ph6

9月

- 12日 大分県中小企業家同友会および県下3信金連携
「補助金・助成金セミナー」開催
- 14日 東大分商工夏祭り参加(萩原支店)
- 14日 仲秋祭・浜の市参加(西大分支店)
- 16日 第68回大分県信用金庫野球大会優勝 **Ph7**
- 20日 南津留地区夕涼み会(東大分支店)
- 20日 滝尾デザイン会議30周年記念式典及び懇親会
- 26日 事業継承バトンタッチワークショップ(佐伯地区) **Ph8**



Ph7

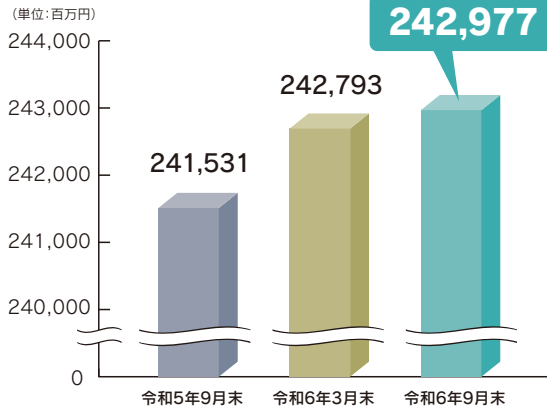


Ph8

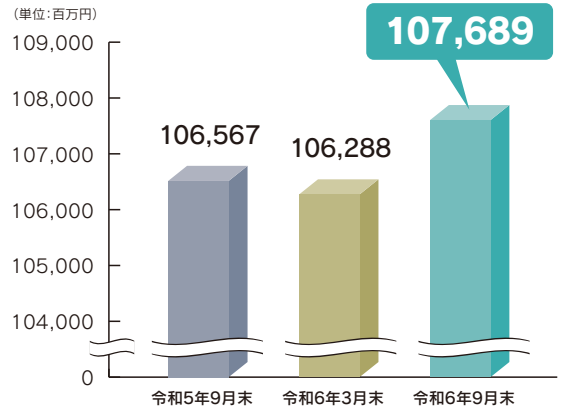
主要な経営指標の推移

預金・積金、貸出金等の推移

預金・積金残高



貸出金残高



(単位:百万円、人)

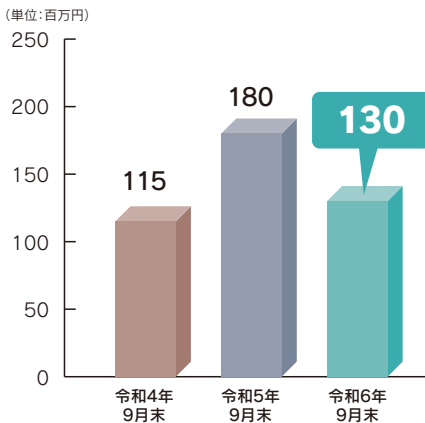
	令和5年9月末	令和6年3月末	令和6年9月末
有価証券残高	66,220	65,937	65,198
預け金残高	81,442	83,490	82,341
総資産額	259,560	261,628	261,150
出資総額	676	678	673
常勤役員数	216	208	209

注・総資産額には債務保証見返は含んでおりません。

収益及び利益等の推移

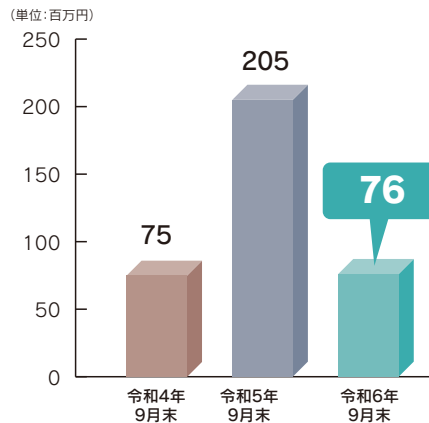
業務純益

業務純益は1億3千万円となり、前年同月比5千万円減少しました。貸出金利息収入の減少や支払利息の増加、物件費の増加が主な要因です。



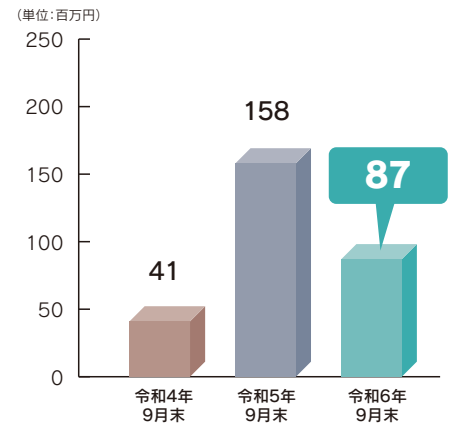
経常利益

経常利益は7千6百万円となり、前年同月比1億2千9百万円減少しました。



当期純利益

当期純利益は8千7百万円となり、前年同月比7千万円減少しました。



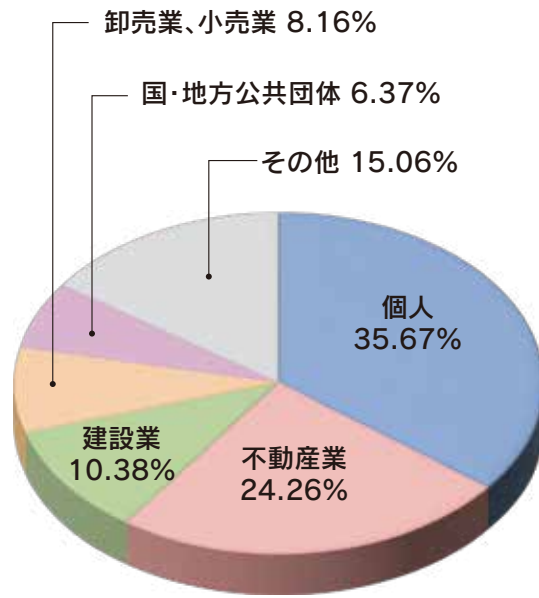
(単位:百万円)

	令和4年9月末	令和5年9月末	令和6年9月末
経常収益	1,445	1,579	1,506
実質業務純益	116	182	125
コア業務純益	116	182	125
コア業務純益(投資信託解約損益除く)	116	182	125

注 1. 業務純益＝業務収益－(業務費用－金銭の信託運用見合費用)業務費用には、例えば人件費のうちの役員退職慰労金等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。
また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。
2. 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額
実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益
国債等債券売却損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

貸出金の業種別内訳

(単位:百万円、%)



貸出金業種別内訳では、不動産業(24.26%)、建設業(10.38%)、卸売業・小売業(8.16%)等の業種が上位となっています。

業種区分	令和6年9月末		
	先数	残高	構成比
製造業	176	3,445	3.19
農業、林業	16	227	0.21
漁業	12	164	0.15
鉱業、採石業、砂利採取業	3	377	0.35
建設業	727	11,181	10.38
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
情報通信業	7	127	0.11
運輸業、郵便業	54	1,392	1.29
卸売業、小売業	545	8,789	8.16
金融、保険業	21	1,114	1.03
不動産業	490	26,126	24.26
物品賃貸業	3	53	0.04
学術研究、専門・技術サービス業	28	164	0.15
宿泊業	8	350	0.32
飲食業	305	2,029	1.88
生活関連サービス業、娯楽業	206	2,187	2.03
教育、学習支援業	24	394	0.36
医療・福祉	45	581	0.53
その他のサービス	343	3,693	3.42
国・地方公共団体	5	6,870	6.37
個人	7,584	38,418	35.67
合計	10,602	107,689	100.00

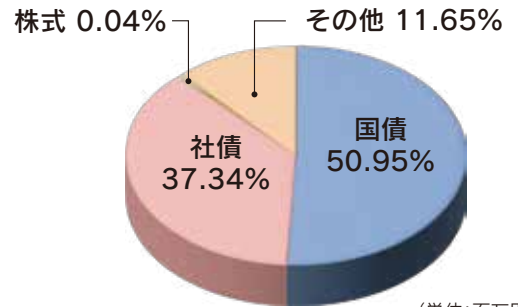
有価証券の時価情報

有価証券の残高の状況

種類	貸借対照表計上額	比率 (%)
国債	33,223	50.95
社債	24,348	37.34
株式	26	0.04
その他※	7,599	11.65
合計	65,198	100

(単位:百万円)
(小数点第3位以下切捨)

有価証券残高の構成



満期保有目的の債券の評価損益の状況

種類	令和6年3月末					令和6年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	評価差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	評価差額	うち益	うち損
国債	1,195	1,188	△ 6	2	9	1,796	1,788	△ 8	5	14
社債	11,600	11,537	△ 62	0	63	11,400	11,321	△ 78	1	80
その他※	2,000	1,701	△ 298	0	298	2,000	1,696	△ 303	0	303
合計	14,795	14,427	△ 368	3	371	15,196	14,806	△ 390	7	397

(単位:百万円)

その他有価証券の評価損益の状況

種類	令和6年3月末					令和6年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	評価差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	取得原価	評価差額	うち益	うち損
国債	32,670	34,990	△ 2,320	105	2,425	31,427	34,386	△ 2,959	49	3,009
社債	12,950	13,793	△ 843	7	851	12,948	13,924	△ 976	2	978
株式	26	26	0	0	0	26	26	0	0	0
その他※	5,493	5,884	△ 390	13	403	5,599	5,907	△ 308	25	333
合計	51,141	54,695	△ 3,553	126	3,680	50,001	54,246	△ 4,244	77	4,321

(単位:百万円)

※ 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です

自己資本の状況

自己資本の充実の状況について

(単位:百万円、%)

＜自己資本の構成に関する事項＞	令和6年3月末	令和6年9月末
コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	20,615	20,697
うち、出資金及び資本剰余金の額	678	673
うち、利益剰余金の額	19,950	20,024
うち、外部流出予定額(△)	13	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	177	171
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	177	171
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	20,792	20,869
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	24	21
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	24	21
前払年金費用の額	182	182
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	206	203
自己資本		
自己資本の額((イ)－(ロ))(ハ)	20,585	20,665
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計額	93,667	93,122
資産(オン・バランス)項目	92,845	92,311
オフ・バランス取引等項目	821	810
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	4,825	4,825
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	98,492	97,947
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)／(ニ))	20.90 %	21.09 %

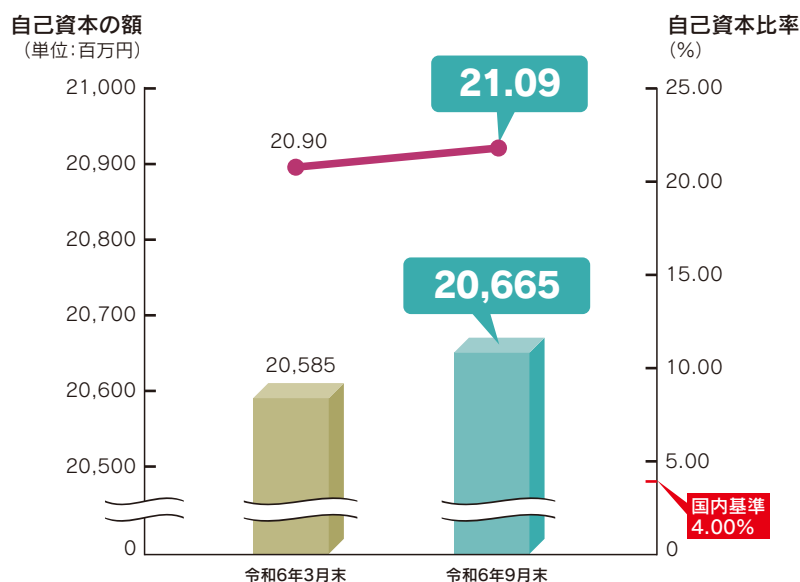
注・自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。
 なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

自己資本額および自己資本比率について

自己資本額は、206億6千5百万円となり、前期末比8千万円の増加となりました。また、リスクアセット等の合計額は、979億4千7百万円となり、前期末比5億4千5百万円減少しました。

自己資本比率は21.09%となり、前期末比0.19ポイント上昇しました。

当金庫の自己資本比率は、国内基準(4%)の5倍以上となっており、安心してお取引いただける経営内容となっております。



不良債権への対応について

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円、%)

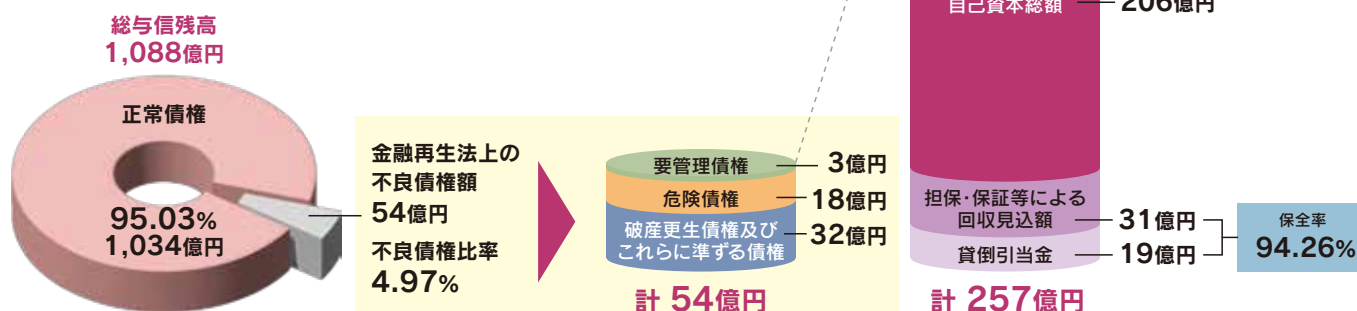
区 分	令和6年3月末		令和6年9月末		期首比	
	残 高	総与信に占める割合	残 高	総与信に占める割合	残 高	総与信に占める割合
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,339	3.10	3,212	2.95	△ 127	△ 0.15
危 険 債 権	1,927	1.79	1,879	1.72	△ 48	△ 0.07
要 管 理 債 権	334	0.31	319	0.29	△ 15	△ 0.02
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	334	0.31	319	0.29	△ 15	△ 0.02
小 計(A)	5,600	5.21	5,410	4.97	△ 190	△ 0.24
保 全 額(B)	5,275		5,099		△ 176	
個別貸倒引当金(C)	1,873		1,885		12	
一般貸倒引当金(D)	17		16		△ 1	
担保・保証等(E)	3,384		3,197		△ 187	
保 全 率(B)／(A) (%)	94.19		94.26		0.07	
引当率((C)+(D)／((A)-(E)) (%)	85.33		85.96		0.63	
正 常 債 権 (F)	101,881	94.78	103,448	95.03	1,567	0.25
総 与 信 残 高 (A) + (F)	107,482		108,859		1,377	

- 注 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「個別貸倒引当金」(C)は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
7. 「一般貸倒引当金」(D)には、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
8. 「担保・保証等」(E)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
9. 「正常債権」(F)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
10. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表中の貸出金、その他資産中の未収収益及びその他資産並びに債務保証見返の各勘定に計上されるものであります。

信用金庫法・金融再生法上の不良債権とその保全状況

不良債権への対応として、担保・保証等や貸倒引当金によって保全を図っており、令和6年9月末の保全率は94.26%です。

また自己資本総額は206億6千5百万であり、リスクに対して十分な備えを有しております。





シンボルマーク



矢車草

矢車草は日本古来のゆかしい、多くの人に愛されてきた親しみ溢れる草花です。小さな花弁が集まってひとつの花ができていくように、人と人との出会いから生まれる小さな輪がだんだんと膨らんで大きく成長し、やがてコミュニティという花を咲かせます。私たちは、この小さな出会いを大切に考え公共性豊かな金融機関として地域社会に奉仕し、よりよい環境づくりの中心になりたいと考えています。信頼される地域のコミュニケーションが私たちの願いです。

だいしん 公式SNS

ぜひフォローをお願いします。

● instagram



「だいしん」や地域の情報に加えて、取引先の紹介を積極的に発信しております。
@oitashinkin

● X (旧Twitter)



毎日(平日のみ)更新しております。「だいしん」が日常をつぶやいています。
@oitashinkin